

神戸薬科大学研究論集



vol.24

目 次

[実践報告]

児 玉 典 子、三 上 雅 久、北 川 裕 之

初年次学生のメタ認知的支援の試み

—生命科学の学習における誤概念への気づき—…………… 1

2 0 2 4

『神戸薬科大学研究論集 Libra』 投稿規程

1. 応募資格は本学の専任・非常勤教員に限定する。
2. 募集原稿の種類は、論文、翻訳、研究ノート、その他（書評、資料、学会報告、論説、論評等）とする（但し、投稿後に編集委員会が区分の変更を求める場合がある）。
3. 原稿内容の範囲は、英語学、英語教育、薬学教育、文学、哲学、倫理学（医療倫理、生命倫理などの応用倫理を含む）、社会薬学の分野に限定する。
4. 投稿原稿の採否は、論文に関しては、Libra 編集委員会の委嘱する審査委員の結果をもとに編集委員会で決定する。その他の投稿原稿に関しては、Libra 編集委員会がその採否を決定する（但し、論文に関しても明らかに水準が低いと判断した場合には、審査委員に回す以前の段階で却下する場合がある）。
5. 人を対象とした研究は、研究対象者への倫理的配慮のもと実施し、本文中「方法」に倫理的配慮の項目を設け、具体的な配慮の内容を明記すること。
6. 投稿論文の使用言語は、日本語、英語のいずれかとする。
7. 投稿原稿の枚数に関しては、別紙の「原稿執筆要領」を参照のこと。
8. 執筆料は、いかなる種類の原稿に関しても、また、その投稿原稿が掲載される、されないにかかわらず、支払わない。
9. 原稿採用の場合でも、編集委員会が当該原稿に対して、内容上、形式上の部分的な修正・変更を要請する場合がある。最終的な印刷上の体裁などについては編集委員会が決定する。
10. 論文については、投稿原稿提出の締め切りを定めず随時受け付ける。論文以外については9月末を締め切りとする。(雑誌発行予定：12月)

〒658-8558 神戸市東灘区本山北町4-19-1

神戸薬科大学

総合教育研究センター思考力育成部門気付

『神戸薬科大学研究論集 Libra』 編集委員会

Mail : kodaman @kobepharma-u.ac.jp (兎玉)

原稿執筆要領

1. 使用言語：日本語、英語のいずれかとする

2. 原稿の種類：

- 1) 論文 2) 研究ノート 3) 翻訳
- 4) その他（書評、資料、学会報告、論説、論評等）

3. 原稿の枚数：

1) 和文の場合（以下のいずれか）

- ・ 400字詰め原稿用紙100枚以内
 - ・ ワープロ用紙44枚以内
- ただし、1 ページの字数は、以下を基準とする
- 横書き：35字×26行（910字）
- 縦書き：50字×18行（900字）

2) 欧文の場合（以下のいずれか）

- ・ A 4 版タイプ用紙ダブルスペース20枚以内
- ・ 総語数7000語以内
- ・ B 5 版横書き70字×26行×44枚

ただし、原稿の種類のいかにかわらず、各号の印刷上の都合により、極端に枚数が多いと判断される場合は編集委員会で審議し、当該原稿の圧縮を求めることもありうる。

4. 書式：

- 1) 注は本文中に通し番号を付し、論文末に後注としてまとめる。参考文献は注の中で明記し、論文末に改めて掲載しないか、もしくは、論文末にまとめて掲載し、注中では略記する。
- 2) 独立引用は、前後を1行あけ、2字落とすとする。
- 3) 和文原稿には英文タイトルを添えるが、和文論文の場合にはさらに、和文のアブストラクト（200字前後）をつける。欧文論文の場合には英文のアブストラクト（100語前後）のみを添える。
- 4) 和文論文に関するその他の細目については、各執筆者が所属する学会の学会誌などの標準的なスタイルに従うこと。

5) 英文原稿に関しては、人文系では The MLA Style Sheet（日本語訳『MLA英語論文の手引き』北星堂）に準拠し、理数系では各執筆者の所属する学会の学会誌などの標準的なスタイルに従うこと。

6) 独文原稿に関しては、各執筆者が所属する学会の学会誌などの標準的なスタイルに従うこと。

5. 提出部数と体裁：

1) 印刷原稿は3部提出するが、そのうち2部はコピーでも可とする。

2) 印刷原稿は下の（1）、（2）の順序、体裁で綴じて提出のこと。

（1）独立した表紙

記入する事項は以下の通り：

- ・ 原稿の種類（論文、研究ノートなど）
- ・ 原稿題目（和文の場合には英文のタイトルも添えること）
- ・ 執筆者名（ローマ字表記を添える）
- ・ 所属機関（ない場合には「なし」と記入する）
- ・ 連絡先

（2）原稿本文

1 ページ目の冒頭に原稿の種類、原稿題目、氏名、さらに論文の場合にはアブストラクトを書くこと

執筆者による校正は、再校までとし、原則として訂正は植字上の誤りに関するものに限る。

ただし、特別な事情があると判断される場合には、初校に限り最小限の加筆・訂正を認めることがある。執筆者と印刷所間での校正原稿の受け渡しは必ず編集委員会が行う。

欧文論文の場合には、義務ではないが、あらかじめネイティブ・チェックを受けておくことが望ましい。外国語があまりにも不出来な場合には審査に否定的に影響することがある。

採用された原稿（種類を問わず）は、原則として返却しない。

以上

『神戸薬科大学研究論集 Libra』編集委員会

執筆者紹介

児 玉 典 子 (執筆者・本学准教授・総合教育研究センター・思考力育成部門)

三 上 雅 久 (執筆者・本学講師・生化学研究室)

北 川 裕 之 (執筆者・本学教授・生化学研究室)

第24号編集委員 (◎は編集委員長)

◎児 玉 典 子 (本学准教授・総合教育研究センター・薬学教育)

竹 仲 由希子 (本学准教授・総合教育研究センター・薬学教育)

西 山 由 美 (本学講師・総合教育研究センター・薬学教育)

藤 波 綾 (本学講師・総合教育研究センター・薬学教育)

前 田 秀 子 (本学講師・総合教育研究センター・薬学教育)

森 田 いずみ (本学講師・総合教育研究センター・薬学教育)

2024年12月31日 発行

神戸薬科大学
研究論集

Libra 第24号

発行人 神戸薬科大学 総合教育研究センター思考力育成部門
神戸市東灘区本山北町4丁目19-1 〒658-8558
TEL 代表 (078) 453-0031
TEL 直通 (078) 441-7624
FAX (078) 441-7624

印刷所 交友印刷株式会社
神戸市中央区港島南町5丁目4-5 〒650-0047
TEL (078) 303-0088
FAX (078) 303-1320

The Journal of
KOBE PHARMACEUTICAL UNIVERSITY
in Humanities
vol. 24 (2024)

CONTENTS

《 Practical Report 》

Noriko Kodama, Masahisa Mikami, Hiroshi Kitagawa

Attempts at metacognitive support for first-year students
—Awareness of misconceptions in life science learning—

1